

都道府県事業実施状況報告書及び評価報告書

整備事業

I 産地競争力の強化を目的とする取組用

(静岡県 平成28年度)

市町村名	事業実施主体名	メニュー① (対象作物・畜種等名)①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①					成果目標の具体的な実績①	メニュー② (対象作物・畜種等名)②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②					成果目標の具体的な実績②	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分 (円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考			
				計画時 (平成18年) (平成19年) (平成24年)	7年後 6年後 1年後 (平成25年)	8年後 7年後 2年後 (平成26年)	9年後 8年後 3年後 (平成27年)	目標値 (平成27年)				達成率	計画時 (平成18年) (平成19年) (平成24年)	7年後 6年後 1年後 (平成25年)	8年後 7年後 2年後 (平成26年)	9年後 8年後 3年後 (平成27年)				目標値 (平成27年)	達成率	交付金	都道府県費					市町村費	その他	
静岡市 (平成19年度実施)	新丹谷地区柑橘植栽組合	果樹	【果樹】 高品質品種の栽培面積増加	7.25ha	16.75ha	26.60ha	26.60ha	18.00ha	180.0%	高品質品種の栽培面積 19.35ha増加								耕種作物小規模土地基盤整備 優良品種系統等への改植・高接	5,072,750	2,383,000				2,689,750	平成20年3月31日	平成19年度に改植が実施された園地(2.10ha)については優良品種が良好に管理されている。今後、農地流動化を含めた適正な園地管理を行い、労働時間の削減のため、効率的な生産を行える園地を整備する必要がある。	平成19年度に改植が実施された園地(2.10ha)については良好に管理され、土地改良区全体で柑橘類が26.60ha植栽されており、目標(18.00ha)に対して達成率は180.0%となっている。今後も担い手への農地集積を含め、引き続き良好に管理されるよう支援を行っていく。			
静岡市 (平成19年度実施)	蒲原町柑橘植栽組合	果樹	【果樹】 高品質品種の栽培面積増加	8.48ha	12.52ha	12.52ha	16.40ha	11.50ha	262.3%	高品質品種の栽培面積 7.92ha増加								耕種作物小規模土地基盤整備 優良品種系統等への改植・高接	1,241,499	613,000				628,499	平成20年3月31日	平成19年度に改植が実施された園地(1.00ha)については優良品種が良好に管理されている。現在、高齢化のため園地の維持管理が困難になっている場所において、中間管理機構を通じた農地の集積が行われている。今後、貸借契約された園地に対して柑橘類の植栽を推進する。	平成19年度に改植が実施された園地(1.00ha)については良好に管理され、土地改良区全体で柑橘類が16.40ha植栽されており、目標(11.50ha)に対して達成率は262.3%となっている。今後も担い手への農地集積を含め、引き続き良好に管理されるよう支援を行っていく。			
静岡市 (平成19年度実施)	矢部地区柑橘植栽組合	果樹	【果樹】 高品質品種の栽培面積増加	0.00ha	14.61ha	19.60ha	26.90ha	33.00ha	81.5%	高品質品種の栽培面積 26.90ha増加								耕種作物小規模土地基盤整備 優良品種系統等への改植・高接	7,222,918	2,949,000				4,273,918	平成20年3月31日	平成19年度に改植が実施された園地(3.62ha)については良好に管理されている。平成22年度～平成24年度の土地改良区の造成が、計画通り進まなかった影響で、植栽の予定が遅れ、土地改良区全体の目標(33.00ha)に対して、現状柑橘類の植栽は26.90haと目標の81.5%にとどまっている。平成28年度造成予定地(約11ha)のうち、柑橘類の植栽を約7.5ha計画していることから、今後確実に実施されるよう支援を行っていく。	平成19年度に改植が実施された園地(3.62ha)については良好に管理されている。平成22年度～平成24年度の土地改良区の造成が、計画通り進まなかった影響で、植栽の予定が遅れ、土地改良区全体の目標(33.00ha)に対して、現状柑橘類の植栽は26.90haと目標の81.5%にとどまっている。平成28年度造成予定地(約11ha)のうち、柑橘類の植栽を約7.5ha計画していることから、今後確実に実施されるよう支援を行っていく。			
静岡市 (平成20年度実施)	新聞ほたる茶植栽管理組合	畑作物・地域特産物(茶)	【畑作物・地域特産物(茶)】 従来品種と異なる高品質品種の作付面積を5%以上増	— (4.35ha)	24.1% (5.40ha=1.05ha)	72.9% (7.522ha=3.172ha)	72.9% (7.522ha=3.2172ha)	19.4% (5.196ha=0.846ha)	374.9%	高品質品種の作付面積 72.9% (3.172ha)増加	畑作物・地域特産物(茶)	【畑作物・地域特産物(茶)】 10a当たり生産コストを5%以上削減	— (391,830円)	—	—	27.4% (391,830円=107,408円)	21.3% (391,830円=83,540円)	128.5%	10a当たり生産コスト 27.4% (107,408円)削減	3,158,925	1,291,000				1,867,925	平成21年3月31日	計画に基づき植栽が行われ、茶樹は順調に生育している。また、茶園の成園化に伴い既に導入が図られている乗用型茶摘採機等の利用により労働力の削減等ができた。今後も、活用受益面積の拡大を図る。	当該地区では、基盤整備によって乗用型管理機の導入が可能となり生産コストの削減が図られた。また、高品質品種を作付けたことで、高品質な荒茶の生産によって収益の向上が期待される。		
島田市 (平成20年度実施)	株式会社ハラダ製茶農園	畑作物・地域特産物(茶)	【畑作物・地域特産物(茶)】 作付面積の拡大により、生産数量を10%以上増加	— (9.4t)	374.4% (44.6t)	980.8% (101.6t)	1086.2% (111.5t)	262.7% (34.1t)	413.3%	生産数量 1086.2% (102.1t)増加	畑作物・地域特産物(茶)	【畑作物・地域特産物(茶)】 全作付面積に占める共同栽培管理を5%以上実施	100% (10.9ha/3.3ha)	100% (16.9ha/16.9ha)	100% (34.1ha/34.1ha)	100% (40.6ha/40.6ha)	100% (10.9ha/10.9ha)	100%	全作付面積に占める共同栽培管理は100%実施できた	21,525,000	10,250,000				11,275,000	平成21年3月26日	農園管理茶園を増やし、荒茶生産量は111.5tと目標を大幅に上回る実績となった。また、農園所有の茶園は100%共同管理を実施することができた。事業実施効果が顕著に現れていると言える。	当該地区では、共同摘採の実施により効率的な茶生産が行われることで、作付面積が拡大し、生産数量の増加につながっている。今後も、農地集積による作付面積の増加によって生産数量の増加が期待される。		

牧之原市 (平成20年度実施)	片浜口原植栽組合	畑作物・地域特産物(茶)	【畑作物・地域特産物(茶)】10a当たり労働時間を17%以上削減	122.41h/10a	59.6% (122.41h/10a-49.5h/10a=72.91h/10a)	80.8% (122.41h/10a-23.5h/10a=98.91h/10a)	80.4% (122.41h/10a-24.0h/10a=98.41h/10a)	38.9% (122.41h/10a-74.7h/10a=47.71h/10a)	206.2%	10a当たり労働時間は80.4%(98.41h)低減した	畑作物・地域特産物(茶)	【畑作物・地域特産物(茶)】従来品種と異なる高品質品種の作付面積を5%以上増加	33a	365.1% (153.49a/33a=120.49a)	365.1% (153.49a/33a=120.49a)	365.1% (153.49a/33a=120.49a)	351.8% (149.08a/33a=116.08a)	103.7%	高品質品種の作付面積は365.1%(120.49a)増加した	耕種作物小規模土地基盤整備 優良品種系統等への改植・高接	5,722,500	2,861,000			2,861,000	平成21年3月26日	計画に基づき園地の整備及び茶樹の植栽が行われたため、兼用型機械導入で作業効率が格段に上がり、大幅な省力化が実現できた。また、省力化により高品質な茶生産に労働力を振り分けることが可能となった。	当該地区では、計画に基づき園地の整備及び茶樹の植栽が行われたため、兼用型管理機の導入が可能となり生産コストの削減が図られた。今後は、高品質品種を活用した高品質な荒茶の生産が期待される。	
静岡市 (平成25年度実施)	足久保共同製茶組合	畑作物・地域特産物(茶)	【畑作物・地域特産物(茶)】下級茶歩留り指数を10%以上低減	25.4 (13,645kg)	—	0 (9,295kg)	19.3 (10,286kg)	14.2 (11,937kg)	54.4%	下級茶歩留り指数は24.0%(6.1)低減した	畑作物・地域特産物(茶)	【畑作物・地域特産物(茶)】契約取引量指数を7以上増加	0 (13,645kg)	—	0 (9,295kg)	41 (10,286kg)	35 (11,937kg)	117%	契約取引量指数は41増加した	耕種作物共同利用施設整備 農産物加工処理施設(加工施設)	11,970,000	5,700,000			2,280,000	3,990,000	平成26年3月26日	実施計画どおり適切に施設整備が行われた。しかし、成果目標1については目標を達成できなかった。今後はさらなる荒茶品質の向上を図り、茶商が求める高品質なお茶の生産に努め、下級茶歩留り指数の増加に努めて、下級茶歩留り指数の低減を図る。	施設整備により荒茶品質の安定と向上が図られ、契約取引の増加に結びついている。一方で、市場価格の低迷により下級茶歩留りの低減が目標達成には至っていないため、更なる品質向上により、高い価格帯の契約取引の増加に努めて、下級茶歩留り指数の低減を図ることが期待される。
静岡市 (平成25年度実施)	足久保ティーワークス茶業協同組合	畑作物・地域特産物(茶)	【畑作物・地域特産物(茶)】下級茶歩留り指数を10%以上低減	55.9 (24,941kg)	—	43.1 (16,695kg)	50.4 (17,994kg)	31.3 (13,716kg)	22.3%	下級茶歩留り指数は9.8%(5.5)低減した	畑作物・地域特産物(茶)	【畑作物・地域特産物(茶)】契約取引量指数を7以上増加	0 (44,591kg)	—	0 (38,719kg)	33 (35,678kg)	35 (43,823kg)	94.2%	契約取引量指数は33増加した	耕種作物共同利用施設整備 農産物加工処理施設(加工施設)	24,150,000	11,500,000			4,600,000	8,050,000	平成26年3月26日	実施計画どおり適切に施設整備が行われた。しかし、目標を達成できなかった。今後は、さらなる高品質茶の生産を増やし、下級茶歩留り指数の改善に努め、また茶期前における現状取引先茶商等との連携強化の話し合いを行い、契約取引先の増加を図る。	施設整備により荒茶品質の安定と向上が図られ、契約取引の増加に結びついている。一方で、市場価格の低迷により下級茶歩留りの低減が目標達成には至っていないため、更なる品質向上により、高い価格帯の契約取引の増加に努めて、下級茶歩留り指数の低減を図ることが期待される。
島田市 (平成25年度実施)	初倉旧初茶農協同組合	畑作物・地域特産物(茶)	【畑作物・地域特産物(茶)】産物販売単価指数を直近値の5%以上増加	—	-15.2% (1,498円/kg(H24平均単価)/1,332円/kg(全国平均単価)=112.5%)	-2.2% (1,296円/kg/1,332円/kg=97.3%)	25% (1,260円/kg/1,142円/kg=110.3%)	18.9% (1,528円/kg/1,111円/kg=137.5%)	132.2%	産物販売単価指数は25ポイント増加した	畑作物・地域特産物(茶)	【畑作物・地域特産物(茶)】契約取引量指数を直近値より7以上増加	—	8.2% (4,000kg/97,233kg=50.4%)	14.4% (53,000kg/368,000kg=14.4%)	34.7% (49,060kg/141,600kg=34.7%)	28.2% (60,000kg/212,800kg=28.2%)	123.0%	契約取引量指数は34.7ポイント増加した	耕種作物共同利用施設整備 農産物加工処理施設(加工施設)	35,175,000	16,750,000			18,425,000	平成26年3月5日	販売単価向上のため、適採時期等を検討し目標達成に努めている。また、新たな販路と契約や、契約茶商等とのさらなる連携により、契約販売の増加に努める。	施設整備により荒茶品質の安定と向上が図られ、荒茶平均単価の向上、契約取引の増加に結びついている。今後は、継続して高品質な荒茶の生産が期待される。	
菊川市 (平成25年度実施)	古谷ヨセブ防霜フアン組合	畑作物・地域特産物(茶)	【畑作物・地域特産物(茶)】10a当たりの単収を直近値の8%以上増加	—	20.4% (1,269kg/10a)	44.3% (1,521kg/10a)	45.8% (1,537kg/10a)	24.0% (1,307kg/10a)	190.9%	10a当たりの単収は45.8%(483kg)増加した	畑作物・地域特産物(茶)	【畑作物・地域特産物(茶)】事業実施地区等において、防霜対策未実施面積における防霜対策の実施率が20%以上増加	0% (0ha/1.43ha)	0% (0ha/1.43ha)	100% (1.43ha/1.43ha)	100% (1.43ha/1.43ha)	100% (1.43ha/1.43ha)	100%	防霜対策の実施率は100%となり、受益地全てに防霜施設を設置することができた。	耕種作物共同利用施設整備 農作物被害防止施設	6,893,250	3,282,000			3,611,250	平成26年3月1日	施設の整備が計画どおり終了し、例年に比べ比較的に少なかった凍害をさらに抑えることができたため、生葉収穫量は目標値に達した。今後も計画的な利用を行い、生葉の生産性向上と品質向上に努める。	当該地区では、受益地全てに防霜施設を整備できたことで、凍害の発生がなく、目標の収量を上回ることも出来た。今後も、防霜対策を的確に実施し、高品質な荒茶の生産につなげることが期待される。	
— (平成25年度実施)	静岡県経済農業協同組合連合会	土地利用型作物(主要農作物種子)	【土地利用型作物(主要農作物種子)】再編後の穀類乾燥調製貯蔵施設等の利用率(再編利用計画に基づく、再編後の水稲種子の予定取扱数量を再編後の施設能力で除して算出)が80%以上	85.7% (280t/326.8t)	90.9% (255.2t/280.7t)	103.3% (300.8t/291.2t)	100.5% (292.7t/291.2t)	90.4% (263.1t/291.2t)	314.8%	利用率は14.8ポイント増加した	土地利用型作物(主要農作物種子)	【土地利用型作物(主要農作物種子)】事業の対象となる主要農作物種子、雑豆及び落花生の種子更新率を事業実施年度の前5中3年平均値と比べて1ポイント以上向上	59.9% (前5中3実績)	63.5% (10858ha/17100ha)	63.8% (10715ha/16800ha)	63.1% (10283ha/16300ha)	64.9% (計画時から5%の向上)	64.0%	種子更新率は3.2ポイント増加した	耕種作物共同利用施設整備 乾燥調製施設 施設能力 291.2t	63,225,225	30,107,000			33,118,225	平成26年3月14日	平成26年度から再編後の施設の利用が始まり、県内全域の採種まで生産された種子の調製を行っている。成果目標Ⅰは、処理能力向上により調製が円滑に行われるとともに、色彩選別機が導入されたことにより高品質な種子が生産されたため、達成できた。今後も関係者と協議しながら、施設の効率的な利用に努める。一方、成果目標Ⅱは、水稲生産者への啓発が不十分なことから達成できなかった。今後は、種子更新啓発チラシの配布を継続し、水稲生産者の良質米生産に対する意識向上を促すことや、種子更新して生産された米を高く集荷する「JA米」の周知を図り、目標の達成を目指す。	成果目標「施設利用率」は目標を達成しており、引き続き利用率の維持に向け必要な支援を行っていく。「種子更新率」の達成率は64%に留まっているが、事業主体の目標達成に向けた、水稲生産者へ意識向上を促す取り組み等について引き続き支援を行っていく。	
都道府県平均達成率	161.2%	総合所見	11事業中7事業については、目標を達成しており、十分な事業効果が得られた。果樹の優良品種系統等への改植・高接の1事業については、今年度中の目標達成を見込んでいるということで、今後確実に実施されるよう支援を行っていく。茶の農産物加工処理施設の2事業については、更なる品質向上により、高い価格帯の契約取引の増加に努めて、下級茶歩留り指数の低減を図ることが期待される。また、目標を達成しているが、実績値が計画値を下回っている事業については、事業実施主体に対し改善指導を行う。主要農作物種子の乾燥調製施設の1事業については、事業主体の目標達成に向けた、水稲生産者へ意識向上を促す取り組み等について引き続き支援を行っていく。																										